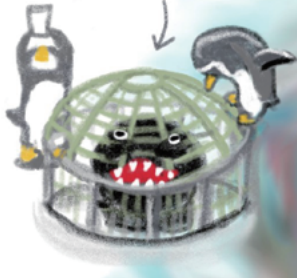


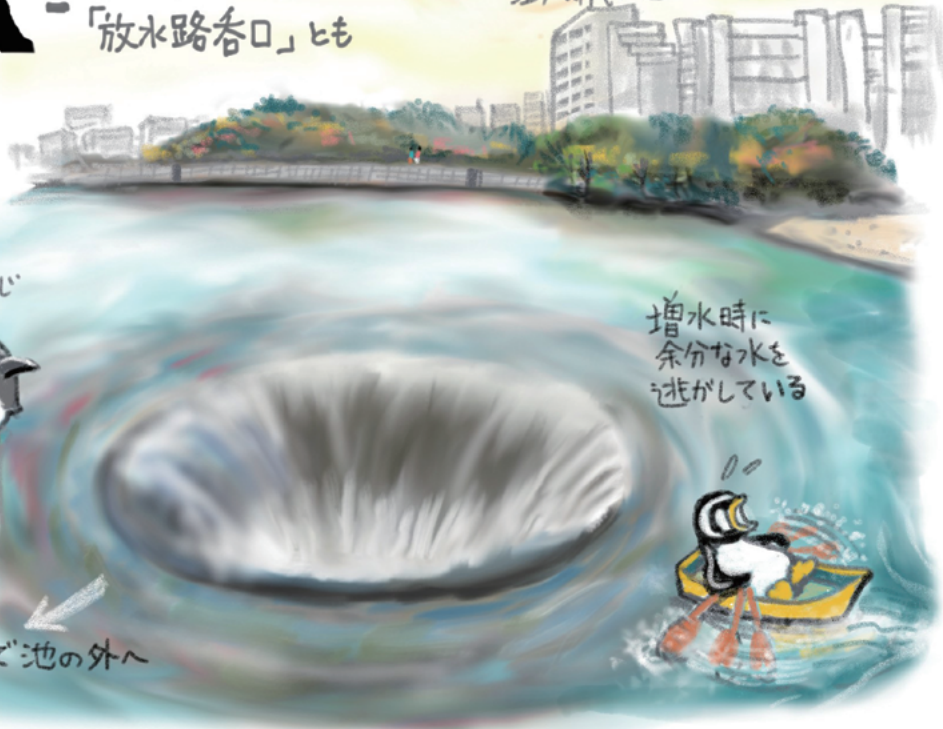
アナ
ダム穴 = 「グローリーホール」
「放水路呑口」も

猫ヶ洞池は、もともとは江戸時代に造られた溜め池

イラストでは、理想のダム穴を描いてみました。じつさいのダム穴の多くは、こんなかんじ



吸い込まれた水は、トンネルで池の外へ



増水時に余分な水を逃がしている

それは魔性の魅惑か？ あなオソロシの光景を求めて

池の中に異次元の穴？ 周りの水を引きずり込みながら轟々と巨大な穴に吸い込まれていく湖面…そんな海外の「ダム穴」の写真を見てから、理想のダム穴を求めて日本中を探し歩いていきます。

ダム穴は見た目こそ恐ろしいですが「洪水吐」という立派な池設備の一つで、大雨の時などに余分な水を池の外に逃して洪水を防ぐお仕事をしています。

今回の主役の猫ヶ洞池は秘境でも何でもなく、むしろ都市住民の身近な憩いの公園になっているだけに、巨大な穴が醸し出す突然の魔的センスに強烈なギャップ萌えを覚えた記憶があります。

ただ、今まで全国で会ってきたダム穴の多くは柵など安全対策がとられ、どこか囚われの獣みたい。むき出しの獣性を開放したダム穴が水を呑み込んでいる姿は、もはや私の幻影でしょうか？それとも野獣のようなダム穴は、今もどこかでひっそりと不敵な笑みを浮かべている？

ダム穴アラカルト



おおせぎざき
大関堰(大堰)

ダムマニアの間で話題になった四角い形状のダム穴。房総半島の溜め池では時折見かけるが、こちらのものは大きくて迫力。

●千葉県市原市



こもりえ
小森江貯水池

現役を引退したため水位が下げられ、塔のような全貌を現したダム穴型取水口。上端の呑口からの高低差が緊張を誘う。

●福岡県北九州市



ぼほんざわ
馬番沢溜池

増水時には地獄絵のような吸い込みっぷりを予感させるダム穴。皆さんも、どこかの溜め池で思いがけず出会えるかも。

●福島県相馬市

文・イラスト・写真
市原千尋



Profile

全国2,500基のダムをはじめ、訪れた池は全国1万以上。地域とどりの池の役割、歴史や魅力をブログで毎日発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オックス)。



【運営ブログ】水辺溜路
<https://bunbun.hatenablog.com>